

# 自動車環境発表

2006.11.6

自動車かまざるまでの過程を学んだ。まずプレス工場であらさわ車の形になる。次にようせつ工場でロボットがクンをあわせろ。とそう工場であらさわ、組み立て工場でタイヤなどをつける。最後にきかしい検査に合格すると出荷される。

KJ法にならったことをまとめた。KJ法とは小さな紙に書いて頭の中から忘れない方法だ。ぼくは3個に分けられた。その中で2つの部分のどちらにあてはまる物があった。それは、

「カイパーには車のまじについた雨を洗う」と言う「窓」と「カイパー」の両方に分類が自分の中で決まってきた。

次に先生に①②③のどれかにあてはめて仮説を作ってくださいと言われた。①②③は次の通りである。

①〜であれば環境にやさしい自動車である。

②〜であれば　　／　　になる。

③環境にやさしい自動車であれば〜である。

上記の3項目の「〜」に言葉をあてはめて仮説を作った。そして発表に使おうと思ったものを挙げる。

①環境にやさしい自動車であればリサイクルできるのである。

②環境にやさしい　　／　　ハイブリッドカーである。

③ソーラーカーであれば環境にやさしい自動車である。

証拠がそろったのは①である。①の資料は10リユームでもあったし本にもあった。その中でも有力だったのは、「使い終わった車はすでに、95〜80%のリサイクルされている。しかし、95%以上を目標とし、開発や生産のころからリサイクルできる材料を取り外しやすしい仕組みが研究されている。」

このことは全く知らなかったのがびっくりした。まさか、開発時にはリサイクルできるようになっているとは思っていませんでした。発表の日目は休んでしまった。しかし2日目は一番に発表したことがやはり勇気がいるので3日目に発表しました。発表前に①の仮説は逆なので、ムックリ返して読んだ。結果は自分の評価ではBぐらいで、友達もAだと感じた。なぜなら自分が最初から終わりまで、人の方を見て発表していきながらだった。だけど、たぶんぼくよりちんの方を見ていない人が多かった。たけど、みんなの方を見ている人はうまいと思う。特になつみさんの発表がうまかった。常におんなの方を見ていたし、絵もでかくて見やすかった。しかも、

「この資料を見てください」と言っていた。

「見てください」と言おうと、どんな資料なのかな、と興味をわいてくる。だからなつみさんの発表が、いいと思った。

この発表をした感想は、一日目に発表してくれた人の発表をたくさん読んで残念だったことです。あと自分的にはうまい発表でできてうれしく調心たかひがあった。たど実感しました。学んだことは、知ってそうで知らない言葉があったことです。例えば「ディーゼルエンジン」

と言う言葉です。だけど、質問タイムの時にたくさん知らない言葉があったので質問できなかったから残念でした。